

線香 (せんこう)



写真出典：平成 28 年度版『わたしたちのまち堺』P68 堺市教育委員会

堺線香は、選びぬかれた天然香料(てんねんこうりょう)と職人の技が合わさり、独特の「調香(ちようこう)」を加えて完成した香りの芸術品と称(しょう)されるほど奥深いものです。

Q. どうして堺で伝統産業として受け継がれているの？

A. 16 世紀のおわりに中国から作り方が伝わり、日本ではじめての線香(せんこう)がつけられたんだ。堺はそのころ日本でも有名な貿易港(ぼうえきこう)で、原料の香木(こうぼく)が集まりやすかったことや、お寺が多かったことが線香づくりの発展をささえたと考えられているよ。

Q. どうやって受け継がれているの？

A. 機械化が進み、コンピューターによって調合されるようになった現代でも、一部の高級線香(こうきゅうせんこう)は、熟練(じゅくれん)の職人の手によって調合されているよ。また、香料の調合率(ちようごうりつ)などは、それぞれの製造元の秘伝(ひでん)とされ、時代に合わせて工夫を加えながら受け継(つ)がれているよ。

Q. どこでまなべるの？

A. 堺市産業振興(さかいしさんぎょうしんこう)センターなどでまなべるよ。

出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

http://www.city.sakai.lg.jp/renaissance/past/04_4.html

平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P13 堺市教育委員会